



施策 廃棄物処理



衛生的な生活環境と健全な水環境を形成し、
持続可能な循環型社会を次世代へ継承します。



1 施策の現状と課題

- 本市のごみ総排出量は2019年度（令和元年度）以降、減少に転じています。2021年度（令和3年度）には、ごみ総排出量の約7割を占める家庭系ごみが減少に転じている一方、事業系ごみは増加しています。
- 今後は、適切な消費活動を促し、ごみの発生抑制や、ごみ総排出量の削減が重要です。特に、家庭系、事業系ともに、食品ロスの削減に改善の余地があります。
- また、リサイクル可能な紙類等の分別排出の周知とともに、製品プラスチック等の新たな品目の資源化の検討も必要です。

施策の方向性 多様な主体と連携・協働してごみの減量と資源循環を推進する

循環型社会の構築に向けて、市民・事業者・市民団体など、ごみに関わる多様な主体による連携・協働のもと、これまでの3R（リデュース：ごみを減らす、リユース：繰り返し使う、リサイクル：再資源化する）に加え、新たなR（リフューズ：ごみになるものをもらわない）に取り組みます。まずは、リデュース、リユース、リフューズに優先的に取り組み、ごみの量を減らした上で、それでもごみになったものはリサイクルし、さらなるごみの減量化・資源の循環を進めます。

2 施策の現状と課題

- 本市のごみの処理は、沼南町との合併後、1市2制度、3清掃工場体制で処理が行われており、統一性に欠け、非効率な状態となっています。今後は、施設の整理・統合、広域処理の検討を含め、より経済的かつ合理的なごみ処理体制の再編が必要です。
- 各施設は、稼働年数が長期間に及んでおり、老朽化対策を含めた合理的かつ効率的な維持・補修・更新等が必要になっています。
- 災害時においても安定した収集運搬体制を維持することが求められています。

施策の方向性 環境に配慮した安全・安心で安定的な処理体制を推進する

衛生的な生活環境を保ち、環境に配慮して安定的にごみの収集・処理を行うため、平時における適正な処理体制の確保はもとより、大規模災害時における災害廃棄物の迅速かつ適正な処理も見据えた安全・安心で安定的な処理体制の構築を図ります。

3 施策の現状と課題

- 公共下水道整備の進展に伴い、し尿及び浄化槽汚泥の処理量は減少傾向にあることから、稼働施設の老朽化対策等の維持管理を含め、将来的に、よりスリムで安定した処理を継続していくことが求められています。
- 下水道未整備地域については、手賀沼や流域河川等の水質改善を進めていく必要があります。
- 汲み取りし尿の収集運搬の量は、今後も減少傾向が見込まれ、安定的なし尿の収集運搬の継続が求められています。

施策の方向性 生活排水の適切な処理を図る

浄化槽の健全な機能を維持するため、浄化槽を設置している家庭及び事業所等に対し、定期清掃・保守点検、水質検査を徹底するとともに、し尿・浄化槽汚泥の安定した処理を推進するため、最適な収集・処理体制を検討します。

● 主な関連部門計画 ● 柏市一般廃棄物処理基本計画